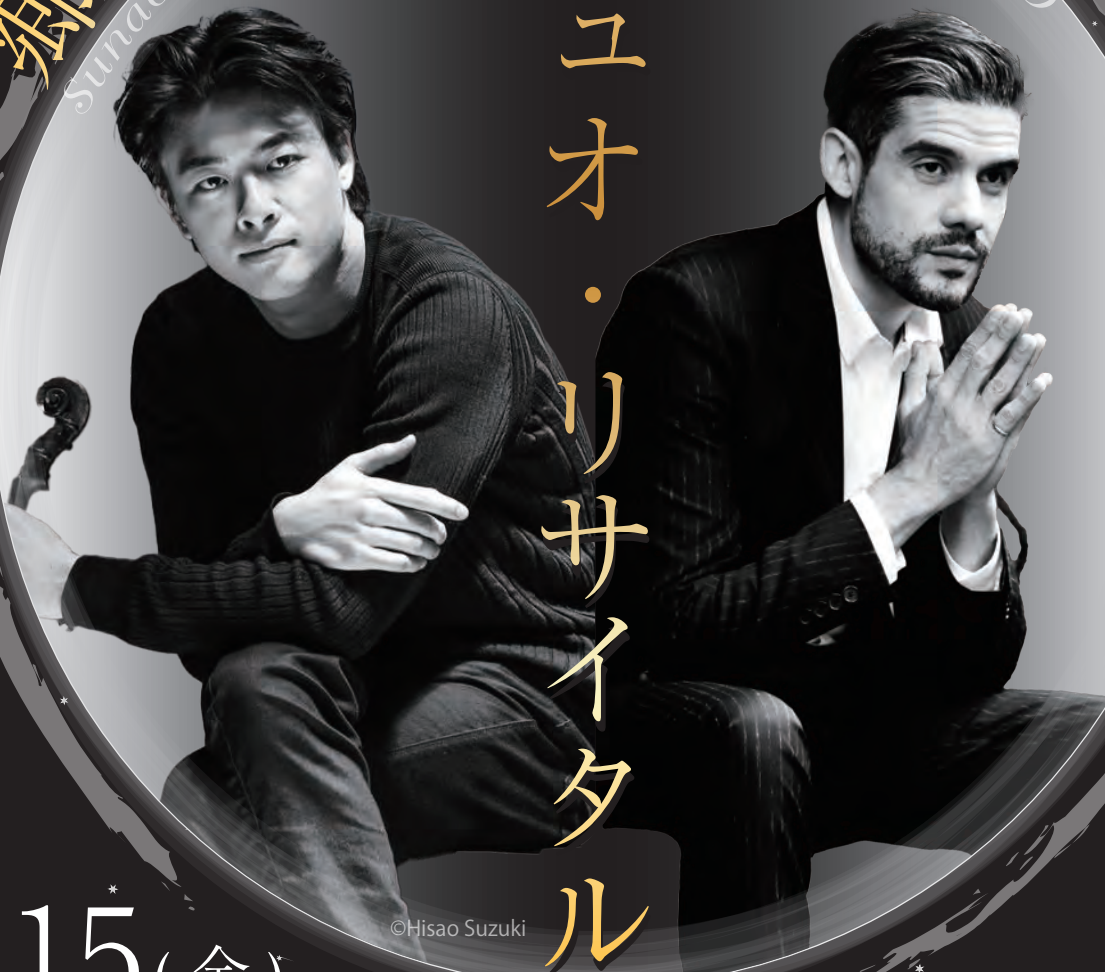


郷古 廉 & ホセ・ガヤルド

Sunao GOKO Jose GAYLARDO



デュオ・リサイタル

©Hisao Suzuki

2024
11.15(金)

開演◆19:00【開場◆18:30】

松本市音楽文化ホール / メインホール

全席指定
■一般/4,500円
■ハーモニーメイト/3,500円
■U-25/2,000円

＝チケット発売＝

◆ハーモニーメイト先行販売：9月7日(土)

①窓口 10:00～ ②電話・Web 14:00～

◆一般発売：9月21日(土) 10:00～

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービス(有料・事前申込)があります。【申込締切：11月1日(金)】

松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)
Tel.0263-47-2004/Fax.0263-47-2383



〒390-0851 松本市島内4351
公式HP <https://www.harmonyhall.jp>
Facebook <https://www.facebook.com/harmonyhall.jp>
Instagram https://www.instagram.com/the_harmonyhall

ホームページ 主催■一般財団法人 松本市芸術文化振興財団 共催■市民タイムス
二次元コード 後援■松本市/松本市教育委員会/信濃毎日新聞社/MGプレス/FMまつもと
松本商工会議所/(公財)八十二文化財団
協力■ハーモニーメイト 企画制作■松本市音楽文化ホール

＝Program＝

R. シュトラウス：ダフネ練習曲

シェーンベルク：幻想曲 Op. 47

シューベルト：幻想曲 ハ長調 D 934

ウェーベルン：4つの小品 Op. 7

ブゾーニ：ヴァイオリン・ソナタ第2番 ホ短調 Op. 36a

※やむを得ない事情により曲目が変更となる場合がございます

【チケット取り扱い】

《松本市音楽文化ホール》

窓口：ホール事務室
TEL：0263-47-2004

Web：インターネットから直接チケットをご購入いただけます！
購入方法等、詳細はホール公式HPをご覧ください。

(チケット購入予約ページ)

<https://www.s2.e-get.jp/onbun/pt>

※要事前会員登録



《イベントナガノ》

Web：<https://www.event-nagano.net>

*ハーモニーメイト割引チケットは、松本市音楽文化ホールのみでお取り扱いいたします

郷古廉 Sunao GOKO /Violin

2013年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。1993年生まれ、宮城県多賀城市出身。2006年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。2007年12月のデビュー以来、読売日響、大阪フィル、名古屋フィル、仙台フィル等を含む各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、フランソワ＝グザヴィエ・ロト、秋山和慶、井上道義、尾高忠明、下野竜也、山田和樹各氏などいる。《サイトウ・キネン・フェスティバル松本》、《東京・春・音楽祭》、《ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン》にも招かれている。また2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。

2014年にEXTONレーベルより無伴奏作品によるデビューCDをリリースし、2015年にはnascorレーベルよりブラームスのヴァイオリン・ソナタ集を、2020年1月にはEXTONレーベル第4弾となる「ベルギー・アルバム」をリリースした。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターを経て、2024年4月よりNHK交響楽団第1コンサートマスターに就任。



©Hisao Suzuki

〜公演に寄せて〜

今回のプログラムは、自分も以前住んでいたウィーンにゆかりのある作曲家の作品を選びました。

今まで行ってきたリサイタル・プログラムの中でもよりマニアックな作品たちです。

シューベルト(1797-1828)の《幻想曲 八長調 D 934》は、個人的にはヴァイオリンとピアノのために書かれた作品の中でも最高傑作と考えています。この曲は非常に高い技術を要求されると同時に、常に音楽性が求められる難曲です。

また今年、没後100年を迎えるブゾーニ(1866-1924)は、シェーンベルク(1874-1951)をドイツに招いて紹介した逸話を持つなど音楽史において重要な役割を果たしたと伝わっています。《ヴァイオリン・ソナタ第2番》はそんな彼らしい、古典的な要素を持ちながらもワーグナー(1813-1883)の影響も感じられる興味深い作品です。

当日はホセ・ガヤルド氏による「自由」だけど徹底した裏付けのあるピアノ・テクニクとともに、会場でどんな化学反応を起こせるのか。僕も今から楽しみです。クラシック音楽に親しんできた方にも初めての方にも、今までにない新しい体験をお届けできると 생각합니다。

大好きな松本で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。ぜひ、お越しください。

2024年7月 郷古廉

ホセ・ガヤルド José GALLARDO /Piano



アルゼンチンのブエノスアイレスに生まれる。5歳の時にブエノスアイレスの音楽院でピアノを学び始め、その後マインツ大学音楽学部でポルディ・ミルドナー教授に師事、同大学を卒業した。在学中、室内楽に情熱を抱くようになりメナヘム・プレスラー、セルジュ・チェリビダツケなどから音楽的影響を受けている。

ホセ・ガヤルドは国内外で数多くの賞に輝き、ロッケンハウス室内楽フェスティバル、ヴェルビエ音楽祭、ルツェルン音楽祭、シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭など多くの音楽祭に招かれる。

ヨーロッパ、アジア、南米で頻りにコンサートや室内楽活動を続ける中で、ギドン・クレーメル、アンドレアス・オッテンザマ等との共演を果たし、またベルリン・フィルハーモニー、ウィグモア・ホール、ウィーン楽友協会、ハンブルク音楽堂、フィレンツェのデッラ・ペルゴラ劇場、ローマ聖チェチーリア音楽院などで演奏した。

EMI、ヘンスラー、ナクソスなどからCDをリリース。SWRをはじめとするテレビ、ラジオ番組のための録音でも活躍している。

1998年から2008年にかけてマインツ大学音楽学部で教鞭をとり、2008年秋からはアウクスブルク大学のレオポルト・モーツァルト・センターで後進の指導にあたっている。

ザ・ハーモニーホール 友の会

「ハーモニーメイト」募集のご案内

会員になると

ご一緒しませんか? 喜びと出会いをわかちあうひととき

1. 情報誌「ハーモニー」をお手元に

音楽記事やザ・ハーモニーホールでの催しが満載の情報誌「ハーモニー」を年6回お届けいたします。

2. 割引のある催しでお得な気分

ホールが主催する演奏会の入場料の割引が受けられます。

3. メイト主催事業への参加も

全国有名ホールバスツアー等へ参加できます。

会員の種類と会費は

Harmony Mate

- 個人会員：年会費 2,000円 ※ご本人様のみ登録できます。
- 家族会員：年会費 3,000円 ※同一世帯の4名まで登録できます。
- 団体会員：年会費 10,000円 ※1口10名まで登録可能。職場やサークル、音楽団体等でご入会ください。
- 賛助会員：年会費 50,000円 ※当地域における音楽文化向上のため、この「ハーモニーメイト」に賛助ご協力いただける法人、団体、個人。(情報誌「ハーモニー」へ、年2回広告の無料掲載ができます。)

【お申し込み・お問い合わせ】

ハーモニーメイト事務局 Tel.0263-47-2004/Fax.0263-47-2383

〒390-0851

長野県松本市島内4351 ザ・ハーモニーホール内